

子どもの発達段階と保護者のかかわり方

中学2～3年生

※全ての子どもに当てはまる訳ではありません。
成長には個人差がありますので、焦らずに・・・

ポイント

今は
こんな時期

- ・ 中学校生活に慣れてきて、見通しがついてきます。
- ・ 生活がゆるんでしまうこともあります。
- ・ 心が安定せず、行動をうまく制御できないことがあります。
- ・ 第二反抗期の時期で、親の干渉をいやがり、反抗が多くなることもあります。
- ・ 性への意識や興味関心が高まります。
- ・ 周りからどう見られているかが気になります。
- ・ 保護者に言えない悩みを打ち明けたり、自分の将来や夢などを相談できる友だちを求めるようになります。
- ・ 進路や就職などの自分の進路決定に重圧を感じることがあります。
- ・ 「やらなくては」と分かっているが、思うようにならない自分にいらいらすることもあります。
- ・ 自分の将来とともに、地域や社会全体を意識するようになってきます。

大切にしたいこと

保護者のかかわり方

- ・ 計画を立て、子どもが自分で動けるようにしていきましょう。
- ・ 進路決定に向けて、様々な経験をさせましょう。
- ・ 他者との比較でなく、子どもの長所を認めましょう。
- ・ 約束ごとは本人が納得いくように話し合い決めましょう。
- ・ 親離れの時期になってきます。親は子どもを信頼し、関係を構築しましょう。
- ・ 「行ける学校」ではなく、「行きたい学校」を意識させ、適正や興味関心などを大切にし、進路を助言しましょう。
- ・ 社会に出たときのことを考え、あいさつを大切にしましょう。
- ・ 社会のことに関心を向けるため、ニュースや新聞を見たり、親子で話したりしてみましょう。

